

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道424号 修理川バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	和歌山県										
起終点	自：和歌山県有田郡有田川町宇井谷 至：和歌山県有田郡有田川町修理川	延長	3.6 km												
事業概要	国道424号は、和歌山県田辺市を起点として和歌山県紀の川市に至る、延長約11.6kmの幹線道路である。修理川バイパスは、国道424号の幅員狭小・線形不良区間を解消し、地域間交流の促進及び産業経済活動の発展に寄与するものである。														
H8年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H8年度用地着手	H10年度工事着手												
全体事業費	約 90億円	事業進捗率	60%	供用済延長	- km										
計画交通量	3,100 台/日														
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年											
1.2	94億円 (事業費：91億円 維持管理費：3億円)	112億円 (走行時間短縮便益：103億円 走行費用減少便益：7億円 交通事故減少便益：2億円)	平成17年												
事業の効果等															
<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間を解消する） 災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり（第1次）防災点検要対策箇所を解消する）など5項目に該当 															
関係する地方公共団体等の意見															
国道424号美山金屋間改修促進協議会より、国道424号修理川バイパスの整備促進・早期完成の要望を受けている。（平成16年10月、平成17年10月）															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等															
周辺環境等に大きな変化はないが、同じ第二県土軸である国道425号福井バイパスに平成15年度新規事業着手。															
事業の進捗状況、残事業の内容等															
用地買収は完了しており、工事については地元及び関係機関の協力を得て、平成19年度には2.1kmを部分供用する予定である。															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等															
用地買収は完了しており、本工事についても順調に行われており特に問題はない。今後は、早期供用に向け本工事の促進を図る。															
施設の構造や工法の変更等															
耐候性鋼材の利用によるライフサイクルコストの縮減や、建設副産物の発生抑制や再生材利用、及びプレキャスト製品の使用等によりコスト縮減に努めており、今後においても対策を講じていく。															
対応方針	そのまま継続														
対応方針決定の理由	事業は順調に進んでおり、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。														
事業概要図	<p style="text-align: center;">修理川バイパス L = 3.6 km</p> <p>起（有田郡有田川町宇井谷） L = 1.5 km (H21年度末供用予定) L = 2.1 km (H19年度末供用予定) 終（有田郡有田川町修理川）</p> <p>至田辺市、白馬トンネル、1号橋、1号トンネル、有田川町、2号橋、3・4号橋、5号橋、6号橋、至日高川町、ひだかがわ、金の風線、2号トンネル、さわかぜ寒風橋、しりかわ修理川、至紀の川市、修理川</p> <p>T99 = 1,637台/日</p>														
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td>供 用 中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事 業 中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再 評 価 箇 所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>う ち 供 用 中</td> </tr> </table>						凡 例			供 用 中		事 業 中		再 評 価 箇 所		う ち 供 用 中
凡 例															
	供 用 中														
	事 業 中														
	再 評 価 箇 所														
	う ち 供 用 中														

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。